

# 小平市議会定例会 一般質問通告書

再質問の方式 一問一答方式

質問件名 遠くて身近な海洋汚染、マイクロプラスチック削減に向けて

## 【質問要旨】

私たちの生活環境はプラスチック製品であふれ、買い物に行けばスーパーやコンビニでは容器包装されたお弁当や菓子類、ペットボトル飲料が並んでいます。軽くて形も自由に変えられ、さらに安価なため世界のプラスチック生産量は 1964 年から 2014 年の 50 年で 1500 万トンから 3 億 1100 万トンと 20 倍以上急増しています。

2016 年に開催された世界経済フォーラム年次総会、通称ダボス会議では「毎年少なくとも 800 万トン分のプラスチックが海に流出し、このままいくと 2050 年までに海のプラスチック量は重量ベースで魚の量を上回る計算になると報告をしています。

海に漂うプラスチックは環境中の PCB や DDT などの有害物質を吸着し、周りの海水と比べ最大 100 万倍濃縮もします。

海に流れ出たプラスチックは紫外線や風、波により粉碎され 5mm 以下のマイクロプラスチックとなり、有害物質を吸着したまま海中に漂い、プランクトンや魚、海鳥が餌と間違え、あるいは餌とともに摂食し食物連鎖により人体へ影響を及ぼす可能性もあります。

河川のない小平は直接海につながっていないため、海洋で起こっているマイクロプラスチックの問題は一見遠い存在のようです。しかし、私たちが使う歯磨き粉や洗顔料などのスキンケア用品に含まれるマイクロビーズは非常に粒子が細かく下水処理を通り抜け海に流出しています。また私たちの食卓に上る魚介類は海で獲れたものと考えれば身近な問題でもあります。

CO2 排出量を減らすのは勿論のこと、環境汚染や生態系への影響も懸念されるプラスチックごみを削減していくために以下質問をします。

- ① 環境汚染や生態系への影響が懸念されるマイクロプラスチックを市としてどう認識していますか。
- ② 容器包装プラスチックの店頭回収は市内でどれくらい進んでいますか。
- ③ 小平市の容器包装プラスチック回収量の 5 年間の推移は。
- ④ プラスチックゴミを削減するにはリデュース（発生抑制）が効果的です。拡大生産者責任を問うために事業者へどのような働きかけをしていますか。また、市民の発生抑制に対する意識は進んでいると思いますか。

上記のとおり、小平市議会会議規則第 57 条第 2 項により通告します。

2018 年 8 月 24 日 小平市議会議長 殿

小平市議会議員 氏名 山崎 とも子

受付番号【           】

26	25	24	23

-(        /        )